



おどろ

R18



…大俱利伽羅

ん、

ぞし、

おい光忠…

ん？

したいのか

ううん  
今日はね

触るだけ

…またか







その代わりに  
こうやって

妙な触り方を  
してくるがある

ただひたすらに  
この身の輪郭をなぞって  
名を呼ぶだけの、

倶利伽羅

大倶利伽羅……

……まるで犬猫にでも  
なった気分だ……

形を、温度を、いのちを  
確かめるみたいに

大事で仕方のない  
たからものに  
触れるみたいに

てのひらで、くちびるで

触れられればこの身体は  
勝手に熱を上げるのに













…うん、そうだね

これじゃもう

誰にも振るって  
もらえないし

眠ろうか













…何をしてるんだ  
畑当番

うーん  
格好悪いところ  
見られちゃったなあ

その猫  
見かけない子  
だったからついね

…主が  
喚び出したんじゃ  
ないのか

ああ  
猫好きだよね  
あの入

君には  
懐くのに…

羨ましそうな  
顔をするな

…おい  
別にこいつはお前を  
取って食いはしない

ほら





…可愛いね

あったかくて  
ふわふわだ

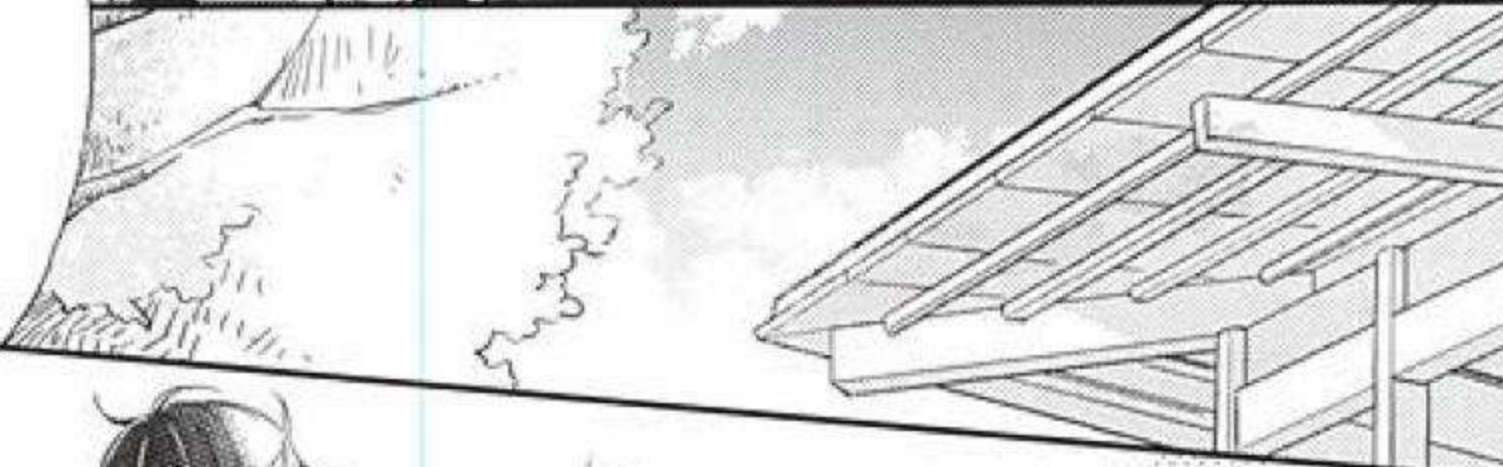


…あんたは  
なんでもかんでも  
触りたがりすぎだ

子供じゃ  
あるまいし

はは  
そうだね

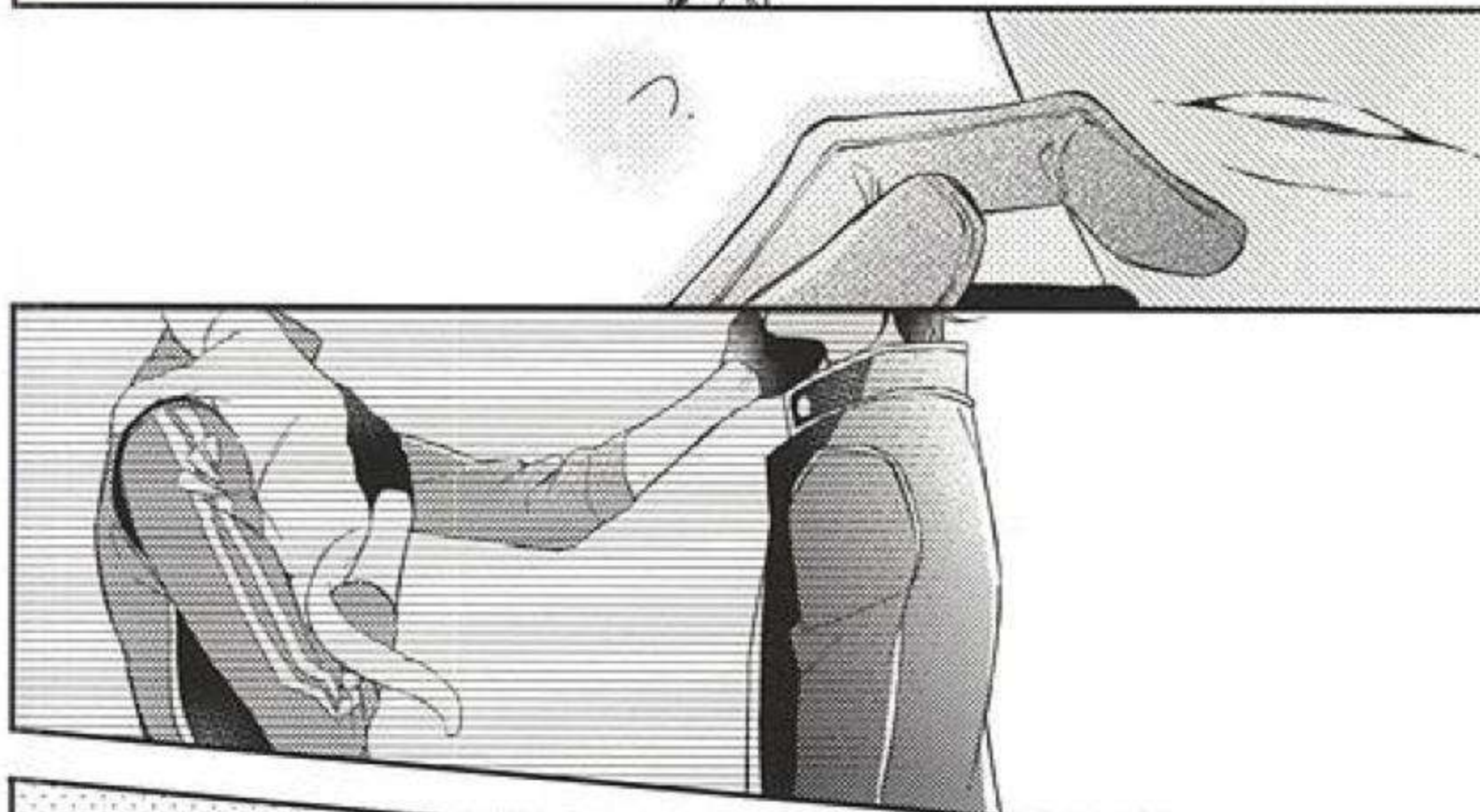
…でも  
確かめておきたいんだ



ここに  
あるものは全部







……つみつ、

はっはっはっはっ

持ち帰ってきたぞ！

えんせい  
がんばりました！

：遠征部隊が  
帰ってきた  
みたいだね

ちよつと資材運ぶの  
手伝ってくるよ

俱利伽羅は午後から  
主と万屋だっけ？

……ああ

じゃあ  
おやつでも用意して  
待ってるよ

必要ない







まあそう  
言わないで

じゃあまた  
後でね



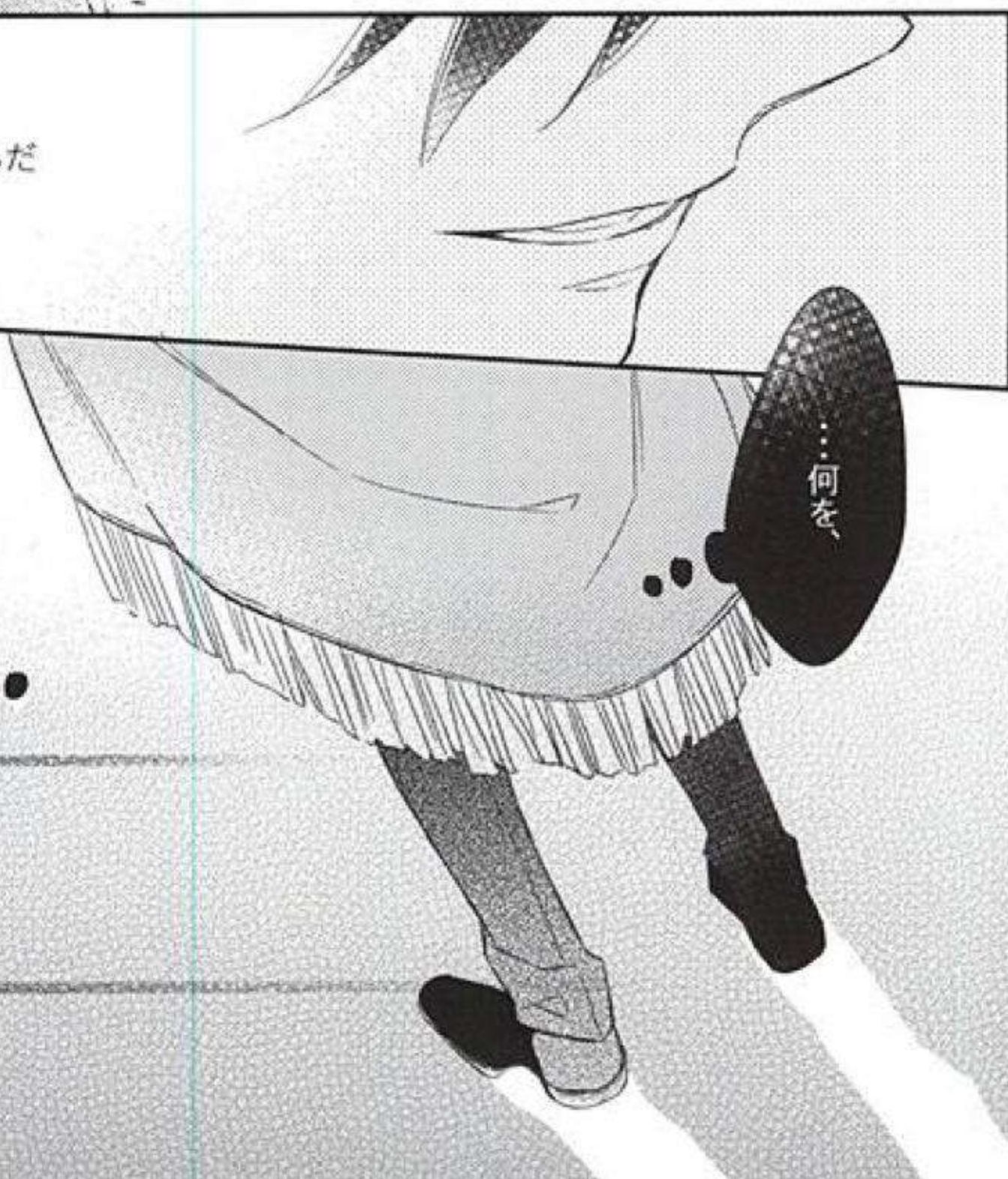
おれより  
手振うよ

おれ  
御いふぞ



…忙しい奴だ

——確かめておきたいんだ



…何を、

光忠  
あんたは

何を見ている





やあ鶴丸さん  
何か用かな?



お見通しって  
わけか

まあね

大方、退屈で  
大俱利伽羅を弄りにでも  
来たんだろう?

さつきから  
うろうろしてたのを  
見かけてね

俺の背後を  
取るなんて  
なかなかやるな

光忠か!

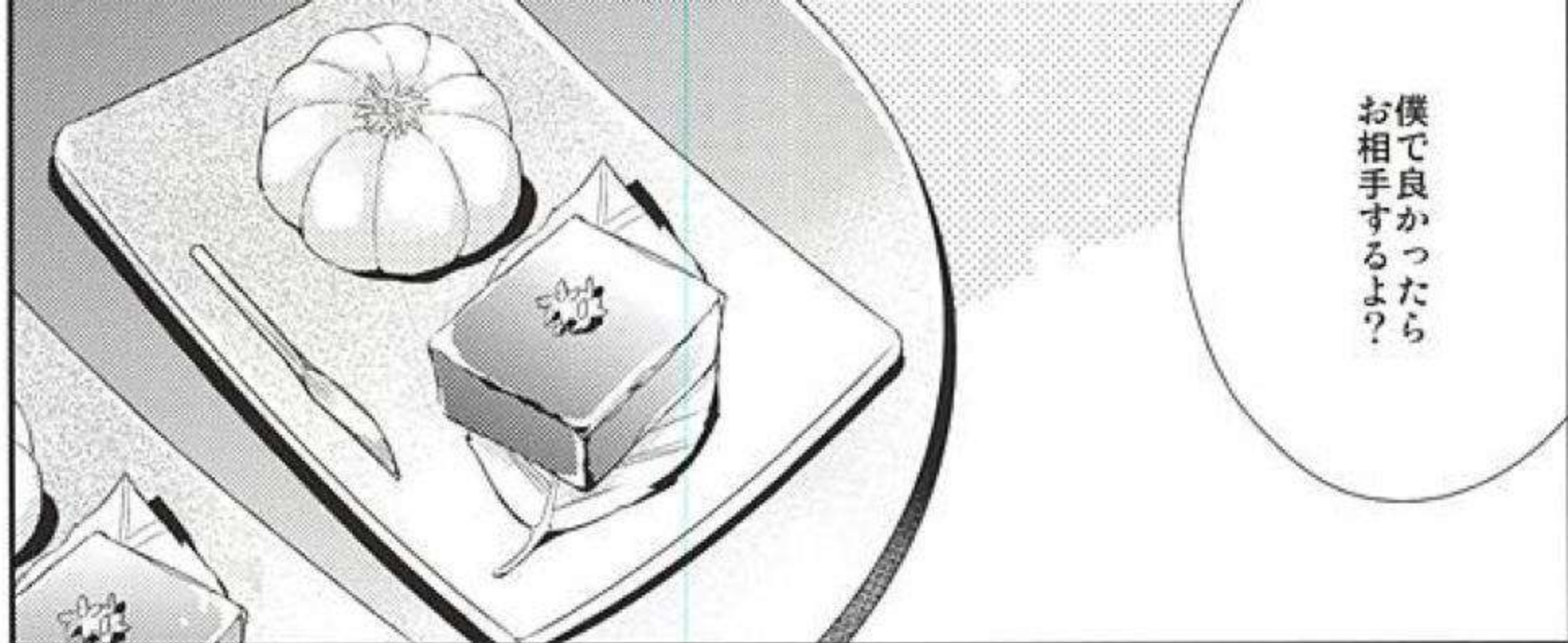


あいにく彼なら  
主の付き添いで  
出掛けているよ

そろそろ戻る頃だとは  
思うけど...







僕で良かったら  
お相手するよ?



退屈だなあ

最近第二部隊の  
錬度上げが多いからね  
仕方ないよ

身体がなまって  
しまうのは少し  
困るけど

お茶入ったよ  
鶴丸さん





その割に君はいつも  
ちょこまかと  
忙しそうだ

これは君の手製か？  
随分とまあ  
手の込んだことを

そりやあね  
この身体で  
出来ることは  
いくらでもあるから



……ここは  
刀であることも  
人の身であることもできる  
夢のような場所だ

退屈だなんて言ったら  
罰が当たってしまうよ



：現世のものに  
触れられるのも  
今のうちだ

覚えて  
おかないと



…眠りから  
起こされて  
見る夢か

それはなかなか  
興味深いな

だろう？

だが夢はいつか  
覚めるものだぜ

夢から覚めれば  
何も残らない  
真っ暗闇だ

そうだね

…だからこそ  
なおさら愛おしい

できれば  
夢の終わる場所は

自分で決められたら  
いいのだけれど



…君

なんてね

冗談だよ

…冗談に  
しちやあ

性質が悪いぜ

夢の終わりなあ

君は何処がいい？  
厨か？畑か？

やめてくれよ  
僕はこれでも  
刀だよ

じゃあ戦場か

そうだね  
そこ以外は  
考えられないかな

うーんでも  
敵に折られるのも  
恰好良くはないよね

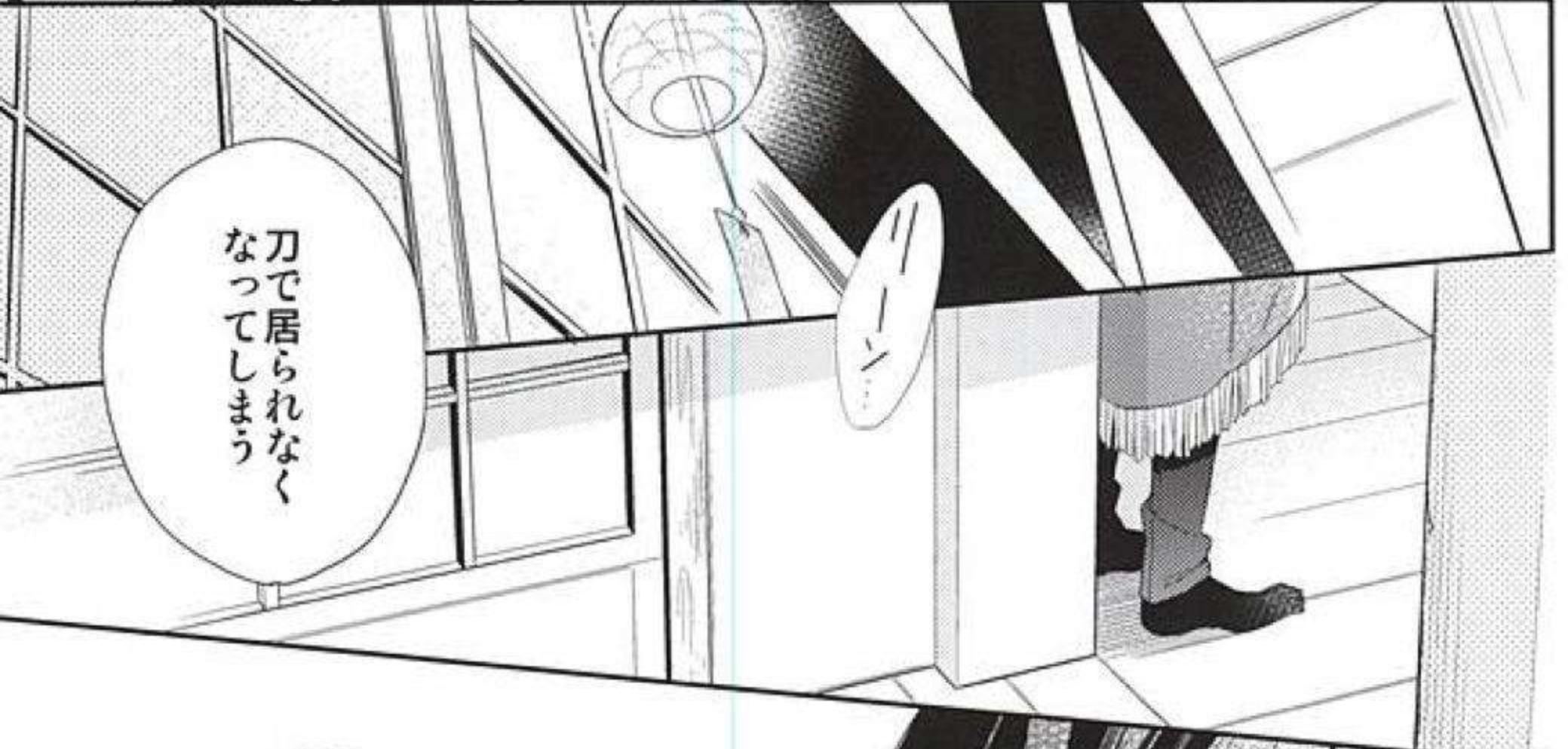
…夢を見たままで  
いたいとは

思わないのかい？

折って  
やろうか

あはは  
遠慮しておくよ













——俺も





あんたにとっては  
夢なのか

……くり、  
から？



いつか覚める  
不確かな、曖昧な  
夢の一部か



だからあんな風に  
触れるのか

恋しい、愛おしいと  
言いながら  
あんたは終わりを見てる



あんたが選ぶ  
最期の場所にか  
俺は居ないのか





手放せる程度の  
情なのか

そんなものなら  
要らない  
その程度の覚悟で  
触れられたくはない



触れるのなら  
最期まで——…っ



…驚いたな

君がそんなことを  
言うなんて



…刀のくせにと  
呆れたか

まさか  
…だけど困ったな

そんな風に言われたら  
僕は君を手放せなく  
なってしまう

だから手放すなど  
言っている

駄目だよ  
これ以上君に  
執着したら

僕はこの夢に  
みつともなく  
縋ってしまいそうだ

そんなの  
格好良く  
ないだろう

それとも君は  
僕と一緒に  
折れてくれるのかい？

…ごめんだな

俺の最期は  
俺が決める

だろうね  
そういう君が  
好きだよ

—だが、





…だから

俺まで

夢のように  
扱うのは  
やめてくれ

…参ったな



すごい  
殺し文句だ



あんたが俺のせいで  
望む最期が迎えられないと  
言うのなら

俺があんたを  
折ってやる

































…たくさん  
出たね？

は

は

……っ  
だから……  
あんなのせいだと

うめん  
ごめんね

謝るから  
もう少し  
付き合っ……

んっ……

すき……



…君の中

あつくて  
きもちいい

心臓の音も  
すごく大きくて





あんただって

同じだ

同じに生きてる



こんな生々しいものが  
夢であってたまるか

音も

あつても

匂いも

たとえ

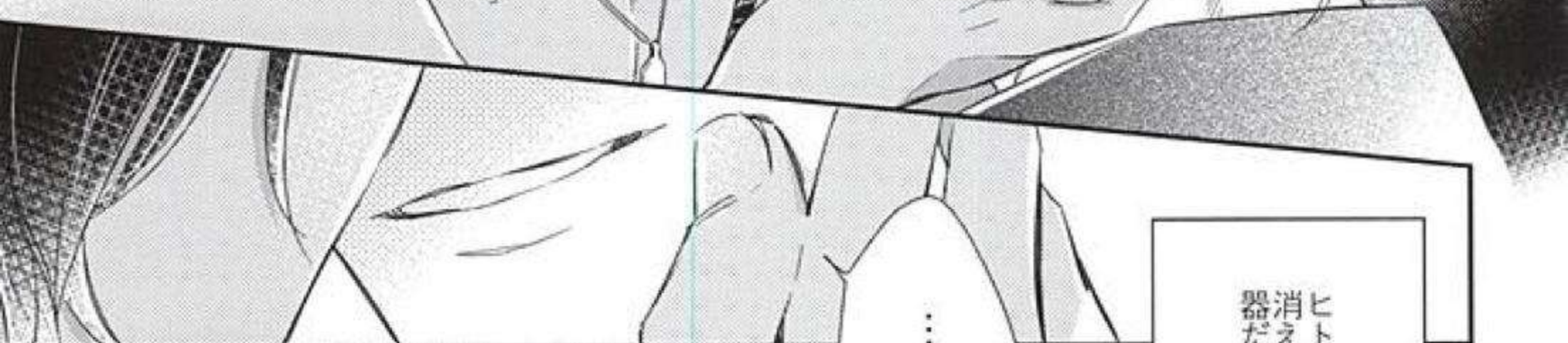
…あんたは  
手離す準備をしていた  
つもりだろうが





悪あがきだ

諦めろ



ヒトの采配ひとつで  
消え失せる  
器だとしても

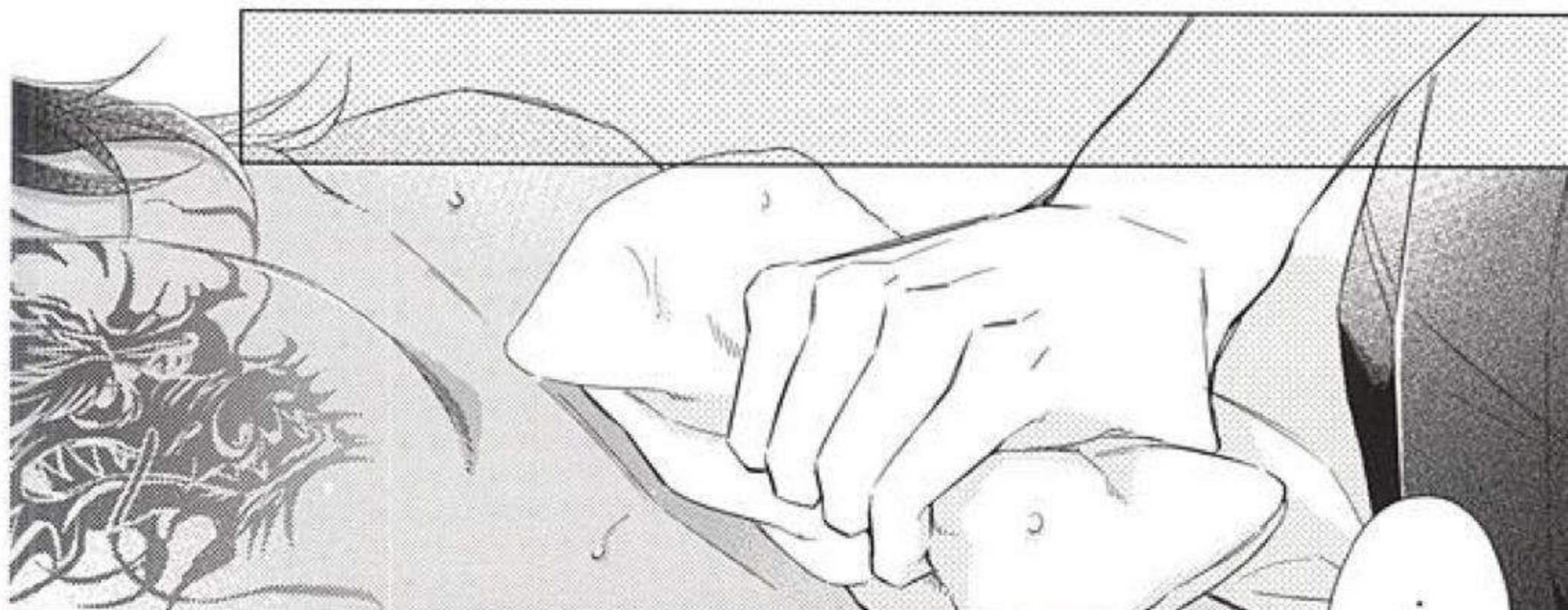
……ほんと、



君には  
かなわないな…

今は、





…あれ？



倶利伽羅  
：寝て  
しまったかい？





…ねえ  
大俱利伽羅  
僕はね

こうして人の身で  
ここに顕現できたことが

また戦場に出られることが  
君と一緒に戦えることが

…君に、  
触れられることが  
どうしようもなく  
嬉しくて

だけど  
あまりにも  
過ぎた幸福は

まるで  
うつつではない  
みたいで

僕は焼けて

ただ懇々と  
眠り続けてた

それこそが  
僕のうつつだった

それなのに  
人の身を  
刀としての役割を  
与えられて

…君にまた会えて、





まるで  
夢のように幸福だ



こんな奇跡みたいなら  
時間をすごせるのなら

いつか覚める夢でも  
いいんだ

触れて、確かめて  
何ひとつ後悔など  
したくない

ああ、幸せな刃生だったと  
格好良く笑って  
いけるように

……  
したかったんだけど、



駄目だね

君を抱くほどに  
手離すのが怖くなる

困ったなあ……

……俺だって、

同じだ

0





刀剣乱舞 燭台切光忠×大俱利伽羅 20150814 はこにわ。